13年度施政方針

平成13年3月定例議会が3月6日から3月15日まで開かれ、平成13年度予算などの審議が行われました。同議会の冒頭で相川町長が「住むことに誇りと自信を持ってもらえるまちづくり」を積極的に推進するための施政方針をのべました。

住むことに誇りと自信を持ってもらえるまちづくりを目指して

21世紀という新しい時代に入り景色や時間の流れが変わったわけではありませんが、1週間、1カ月、1年、100年と時間の流れに切れ目をつけたのは人間のすばらしい智恵だと思います。

今、日本社会は物質的な豊かさの中で、戸惑いが生じているように思われます。

また、火山噴火や集中豪雨等の天変地異、企業倒産、政治家や公務員の相次ぐ不正事件、青少年の犯罪等々、このような中で、どのような価値感を大切にし、生き方を見つけてゆくのか考えなければならない時にきているものと思っております。さらにこうした社会的な問題を反面教師にして、物事に取り組んでいく必要を感じております。

決意も新たにして20世紀と21世紀の架け橋となるまちづくりに取り組んでゆく所存です。

平成13年度の事業と取り組み

ソフト事業

●都市計画の決定

今後の芝山町を順調に発展させていく上からも必要な施策と考えております。今回の都市計画は、下総町、大栄町、多古町、松尾町、横芝町、光町の6町とともに、平成10年から調査し3年間かけて進めてきました。昨年の11月に素案を発表し手続きを進めてきました。今後、手続きを進め都市計画を決定し、町づくりの新たな出発点にしたいと考えています。まちづくりには長い年月と多額の費用が必要ですが、今後この計画に従って少しずつ進めていきたいと思います。

●芝山町総合計画

今回の総合計画は平成13年から22年の10年間です。これからの10年間を見据えたまちづくりの基本的な計画に沿いながら、町の発展に向かって取り組んでいきたいと思います。

基本目標として

・豊かな自然を生かした住みよい環境をつくる
・空港の活力を生かしたまちづくりと産業の育成を図る
・参加と交流の輪を広め、開かれた町づくりを進める

基本理念として

「いま、共につくる」協働・連携・共生

町の将来像として

緑の大地と「空」がふれあうまち・芝山

夢・人・情報が集う「港」をめざして

新総合計画を町長に答申

町から諮問を受けた第3次芝山町総合計画は、総合計画審議会（会長萩原庄一氏）において審議が行われ、意見・要望が答申書にまとめられ、萩原会長から「新総合計画により更なる発展を期待します」と相川町長に手渡されました。

3月議会定例会において議会の承認を得、平成13年4月から平成22年までの10年間の「第3次芝山総合計画」としてスタートします。

3/16菱田小卒業式にて

子供たちに確かなものを手渡せるように…。

ハード事業

●学童保育

児童の健全な育成をめざし、保護者が昼間家庭にいない、小学校低学年の児童を放課後または学校の休業日にあずかり、適切な遊びや生活の場を提供していきたいと考えています。

●シルバー人材センターの開設

高齢社会を向かえ、お年寄りのみなさんが、生きがいを持って暮らすことが大事なことと思います。長い間つちかってきた智恵や匠の技術を活用した働きの場や、ふれあいの場を確保することが大切であると認識しています。みなさんにあった働く場を提供する機関としてシルバー人材センターの開設を目指したいと思っております。

●芝山鉄道

現在、工事も順調に進捗しており、今年の11月頃には全線レールが敷かれ、駅舎も完成します。今は、できる限り多くの方々に利用していただけるよう運営や宣伝などで、智恵を出していくときだと思っています。

●駅前整備

鉄道の開通と併せ、駅前整備も急がれております。3800㎡の駅前用地は、芝山町の新たなシンボルとして生まれ変わります。

●空港シャトルバス

騒音下の交通手段がありませんでしたが、海と空港を結ぶ、空港シャトルバスが4月1日から供用されます。幅広くみなさんに活用していただき、地域の交流も盛んになってくれるものと期待します。

●道路関係

町の事業、財特3路線―高田地区、福祉センター前、駅前1号線。県の事業、はにわ道路宝馬工区、はにわ道路2期菱田地区などが取り組まれています。

●公共下水道事業　農業集落排水事業

公共下水道事業小池処理区、農業集落排水事業大台処理区・山中処理区、これらの事業により川や排水路がきれいになります。21世紀は自然回帰の時代といわれるように、自然との共生を重視した時代になるものと思っております。

そのほかにも、多機能型農業公園、圏央道等も具体的な形が現れてくる時期だと思われます。

●芝山から直接空港内へ

空港の南側から直接空港内に進入できる南側ゲートの早期完成も要望しております。

ソフト事業、ハード事業、数多くの取り組みが始まってきました。いずれの事業も町発展に欠かすことのできない重要な取り組みばかりです。ホームページも開設されましたので、最新の情報を発進していきたいと考えています。

町の将来に確かな期待と展望を持ちながら、この芝山に生まれ育ったことに、誇りと自信を持っていただけるようなまちづくりを目指して活動していきたいと思っています。